



かわいっ子

小中一貫型
小野市立
河合小学校
令和5年5月

－ 他者と共創し、主体的に学ぶ

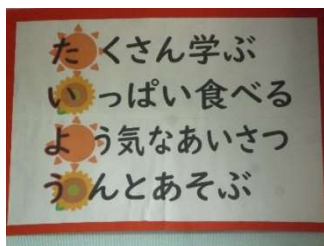
児童生徒の育成 －



校庭の若葉が美しい季節となりました。新入生44名を迎えて新しい学校生活がはじまり、早1ヶ月が過ぎようとしています。河合小中学校の小中一貫教育は、「他者と共創し主体的に学ぶ児童生徒の育成」を学校教育目標とし、今年で9年目を迎えます。日々の小さな実践の積み重ね、互いを認め考え共有しながら、新しい価値を生み出し、共に生きていくことをねらいとして取り組んでいます。

コロナによる制限が少しずつとかれ、新たな学校生活へと移行していく中で、コロナ禍の経験を前向きにとらえ活かすことが大切でしょう。これからの時代は、自分のもつ知識を活用・発揮しながら、今ある課題を捉え、より柔軟に対応する力が求められます。未知の状況においても、たくましく生き抜くために、子どもたちには、家庭や地域、学校生活の中で「自分で考えて行動する。」「主体的に学ぶ。」「自分と異なる多様な他者と協働する。」等、多くの経験を積んでほしいと思います。

めざす目標を達成するためには、①自身が常に意識すること②周りがタイムリーに褒め導くことが大切です。教職員、保護者様、地域の皆様が“かわいっ子”応援団となって、子どもたちを励まし、成長を支えていただけたらと思います。引き続きご支援ご協力をよろしくお願いいたします



学年・学級目標が決定

2023年(令和5年度)



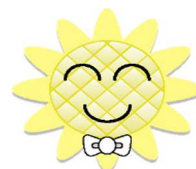
うれしいこと 校舎内のトイレのスリッパが、きれいに並

べられています。みんなの物を使いやすく整え、大切につかうことを全校生で実践しています。「使う人は、そろえた人に“ありがとう”の気持ちをもって使い、またそろえる。」学校をみんなで気持ちよく、過ごしやすい場所にしていきましょう。 1年生教室前のトイレ ⇒



令和5年度 学校教育目標(河合小)

以下のとおり、重点項目として5つの柱を立てて教育活動を推進していきます。



【目標】

学校教育目標「他者と共創し、主体的に学ぶ児童生徒の育成」を実現するために、「5・4制」の小中一貫教育の推進により、子どもたちの学力を向上させ、豊かな社会性を育てるための教育を行う。

【重点項目】

(1) 「夢と希望の教育(第Ⅲ期)」の推進

- ・「脳を鍛え、心や感性を育てる脳科学の知見」に基づいた教育活動
- ・超スマート社会(Society5.0)を生き抜く力の育成

(2) 河合小中型(5・4制)「小中一貫教育」の推進

- ・「小中一貫」を常に意識した、チームとしての取り組み
- ・9年間を貫いた学習指導・児童生徒理解・人権教育の充実
- ・行事・児童会活動・日常の学習・学級活動での主体的な態度の育成



(3) 主体的・対話的で深い学びの創造

- ・わかる授業、家庭学習の充実、体験学習の充実 ICT教育の推進
- ・協働的な学び、個別最適な学び(得意を伸ばし、苦手を克服する教育)の推進
- ・研修の充実による教師力(授業力・児童生徒理解・指導力・人権意識)の向上
- ・特別支援教育の視点をもった指導の充実

(4) 安全・安心のある学校づくりと地域連携

- ・「児童が通いたい」、「保護者が通わせたい」、「地域が期待する」学校づくり
- ・物的(施設・設備)・心的(信頼・互敬)共に充実した学校環境づくり
- ・保護者・地域とのつながり・信頼の深化

(5) 教職員が心身ともに健康で児童生徒にかかわるための「働き方」改革推進

- ・勤務時間の適正化 毎週金曜日18時の定時退勤(勤務時間は8:00~16:30です)
- ・一斉学校閉庁日(8月11日~15日)→緊急連絡は63-1000(学校教育課へ)
- ・メッセージ電話(平日は18時から7時半迄、休日は終日 休校中は16:30より)